

会派の構成

会派とは、市議会内で政治上の主義や政策等と同じくする議員同士が集まって政治活動を行うことを目的として結成された団体のことです。小平市議会では2人以上の議員をもって会派を構成することができます。 ○=幹事長

市議会公明党(6人)

○立花 隆一 浅倉 成樹 虻川 浩 津本 裕子 山岸真知子 幸田 昌之

フォーラム小平(4人)

○滝口 幸一 石毛航太郎 小林 洋子 常松 大介

生活者ネットワーク(3人)

○日向美砂子 岩本 博子 平野ひろみ

みんなの党小平の会(2人)

○吉池たかゆき 坂井やすのり

※堀浩治議員が7月9日付で政和会から脱会し、小平自民クラブを結成しました。

政和会(5人)

○佐野 郁夫 磯山 亮 小野こういち 川里 春治 宮寺 賢一

日本共産党小平市議団(4人)

○佐藤 充 木村まゆみ 末廣 進 細谷 正

虹とひかり(2人)

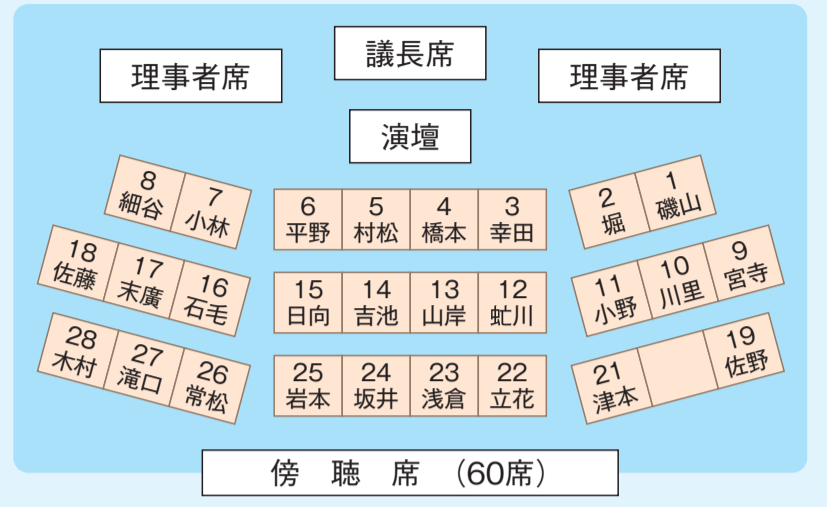
○村松まさみ 橋本 久雄

《無会派》

小平自民クラブ(1人)

堀 浩治

議場議席図



小平非核都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核軍備拡大競争及び通常兵器の軍備拡大競争は一段と激化し、世界各地で武力紛争が絶え間なく続き核戦争の脅威が迫っている。

我が国は、世界唯一の核被爆国であることにかんがみ、小平市議会は、すべての国の核兵器に反対し非核三原則を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意し非核都市を宣言する。

昭和58年3月3日
小平市議会

※この宣言は、昭和58年3月定例会において議員から提案され、全会一致で可決されたものです。

意見書

4月臨時会及び6月定例会では、それぞれ1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

西武国分寺線、西武多摩湖線など5路線の存続を求める意見書

西武ホールディングスの筆頭株主である米投資ファンドサーベラス・グループは、同ホールディングス株に対する株式公開買い付け(TOB)を進めていますが、それらに絡め、不採算路線の廃止や埼玉西武ライオンズの売却を含めた提案をしているとの報道がされています。その後、同ファンドの日本法人社長は「アイデアの一つとして示しただけで、提案も要求もしていない」と述べて路線廃止等にはこだわらない考えを示しています。しかし、小平市は、市南北を結ぶ西武国分寺線・多摩湖線が、通勤通学の交通手段として、また、通院の交通手段としてまさに生命線となつてい

ます。小平市の生命線ともいえる、これらの路線の廃止について、たとえアイデアの一つとして示したと言われても、到底看過できるものではありません。この二つの路線のほか、西武山口線、西武秩父線、西武多摩川線の廃止も示されていることを考えれば、北多摩地区の住民のみならず、東京都民、埼玉県民にとつて、大変な衝撃をもって受けとめられる問題です。よって、本市議会は、市民の交通手段である公共交通機関を、単に採算の問題だけで切り捨てようとする考えに断固抗議するとともに、たとえ株式公開買い付け(TOB)が成立し、株式の45%近くを保有したとしても、これらの路線の存続を強く求めるものです。

寡婦控除を全てのひとり親家庭まで拡大することを求める意見書

寡婦(寡夫)控除は、配偶者と死別又は離婚して、子どもを養育するひとり親家庭に適用される国の税制優遇制度ですが、未婚のまま子どもの養育をしているひとり親家庭には適用されません。本制度は、地方公共団体の保育園の保育料、公営住宅の賃料の算定基準等さまざまな施策に影響があり、未婚のまま子どもを養育しているひとり親家庭には、より大きな負担となつていきます。特に母子世帯については、ひとり親世帯の中でも所得水準が低く、子どもの貧困の観点からも課題が指摘されています。同じひとり親家庭でありながら、婚姻歴の有無及び性別により負担に差異が生ずるべきでなく、子どもの成育環境に影響を及ぼすことのないよう制度の確立が望まれます。

贈らない 求めない 受け取らない

政治家が、選挙区内の人や団体にあいさつ状(答礼)のための自筆によるものは除く)を出し

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣あて

よって本市議会は、国会及び関係行政庁に対し、税法の寡婦(寡夫)控除に関する規定につき、全てのひとり親家庭に適用するよう改正することを求めます。

議会日誌

4月24日~7月23日
本会議、委員会、諸会議など

4月	4日 幹事長会議(臨時) 議会運営委員会(臨時)
5月	24日 臨時会
6月	4日 6月定例会2日目(一般質問) 5日 6月定例会3日目(一般質問) 6日 6月定例会4日目(一般質問) 8日 幹事長会議 10日 神奈川県川崎市議会議員視察来庁(防犯灯電気料金補助制度について) 13日 幹事長会議 14日 総務委員会 15日 生活文教委員会 16日 厚生委員会(市内視察) 17日 建設委員会(市内視察) 24日 東京河川改修促進連盟総会及び促進大会 27日 幹事長会議 28日 青森県弘前市議会議員視察来庁(小平市いきいき協働事業提案制度について)
7月	3日 多摩六都科学館組合議会臨時会 11日 議会改革推進特別委員会(千葉県流山市視察) 12日 多摩北部都市広域行政圏協議会審議会 16日 議会報編集委員会 18日 幹事長会議(臨時) 19日 湖南衛生組合議会臨時会
6月	4日 6月定例会初日

議場見学



《小学3年生》

- 5月24日 八小67人
- 5月31日 十五小56人
- 6月11日 二小88人
- 6月13日 学園東小59人
- 6月14日 十四小62人
- 6月17日 九小92人
- 6月18日 鈴木小28人
- 6月20日 七小98人
- 6月21日 六小95人
- 6月27日 十小95人
- 6月28日 十一小110人
- 7月2日 三小95人
- 7月4日 花小金井小58人

あとながき

委員会等の構成が変わったことに伴い、本号から議会報編集委員会も新しいメンバーでスタートいたしました。これからも市議会の活動について積極的にお知らせし、親しみやすい紙面となるよう編集委員一同努めてまいります。お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。〒187-1870 小平市小川町二丁目1333番地

TEL 042-346-9566
FAX 042-346-9567